

幽霊素粒子「ニュートリノ」が変化した！？

日時：2015年1月11日(日) 14:00~15:30

ところ：島根大学総合理工学部1号館2階21講義室
(入場無料・申し込み不要)

講師：中家 剛 (京都大学・教授)

中家先生は、2014年仁科記念賞を受賞されました。本講演では、仁科記念賞受賞の研究をわかりやすく紹介して頂きます。

【講演内容】大型加速器J-PARC、大強度ニュートリノビーム、超大型ニュートリノ測定器スーパーカミオカンデを使って行われたニュートリノ実験T2Kの紹介をし、近年発見されたミューオンニュートリノから電子ニュートリノへの変化について発表します。高校生以上の一般の方にも分かりやすく、日本のニュートリノ研究の最前線の状況を紹介します。



【講演スケジュール】本講演に先立ち、理論物理学者よりニュートリノについて下記の講演を14:10~14:30に予定しています。

14:00:

開会挨拶 竹内 潤 (島根大学・理事／副学長 (学術・国際担当))

14:10:

素粒子物理学とは？ 波場 直之 (島根大学・教授)

14:20:

理論物理学とニュートリノ 石田 裕之 (島根大学・特任助教)

共催：新学術領域「ニュートリノフロンティアの融合と進化」